

コアネット第10回総会に寄せられたメッセージ

2024年4月13日

I. ティンウィンさん（ビルマ）の連帯メッセージ

親愛なる同志の皆様、

日本の進歩的思想の指針である COA-NET に、心からの敬意を表します。

第10回総会は、私に勇気を与えてくれます。

日本の ODA とその開発への影響に対する批判を含め、公正で公平な世界への揺るぎないコミットメントは極めて重要です。

私たちは政府に、依存を永続させるのではなく、国家に力を与える責任を負わせなければなりません。

長年にわたり、COA-NET は平等や協力といった社会主義や共産主義の理想のために闘ってきました。

あなた方の権力構造に対する批判と人々の幸福への献身は、世界中の活動家を鼓舞しています。

現在の情勢は、挑戦と好機を示しています。

不平等の拡大、環境への脅威、地政学的な緊張が私たちの地球を危険にさらしています。しかし、COA-NET のような運動は希望を与えてくれます。

皆さんは、対話を促進し、人々を中心とした政策を主張することによる共同行動の力を明らかにしています。

皆さんの国際的な連帯は、公正な世界秩序を求める私たちの闘いを強化します。

この総会は、戦略を練り、経験を共有し、アプローチを洗練させるチャンスです。活発な議論に参加し、意見を交換し、皆さんの運動とメッセージを強化するための前進の道を切り開いてください。

ビルマへの ODA を批判するこのイベントに参加できたことを大変光栄に思います。この問題については、あなた方のイベントで何度も議論してきました、特に今年の ZENKO の素晴らしいイベントでは、講演する機会をいただきました。

以下は、COA-NET が特に影響力を発揮できる主な分野です：

1. ODA の透明性と説明責任を求める：
2. ODA 改革を提唱し、資金が持続可能な開発、貧困削減、真の能力開発に使われるようにする。
3. 新自由主義と闘い、社会正義を促進する。
4. 自由市場の支配に挑戦し、社会福祉、労働者の権利、より公平な富の分配を優先する政策を提唱する。
5. 国際連帯を構築する。

6. グローバル資本主義、帝国主義、戦争に反対する統一戦線を構築するために、他の社会主義・共産主義運動との連携を強化する。

日本国民との関わり

1. 現在の ODA 政策の限界について認識を高め、真の国際協力と発展を優先する代替アプローチを提唱する。

前途は多難かもしれないが、揺るぎないコミットメントと大衆行動、そしてより良い未来への明確なビジョンがあれば、COA-NET の影響は計り知れないと思います。

連帯して

ティンウィン

II. クリシュナカントさん（インド）の連帯メッセージ

親愛なる COA-NET の友人の皆さん、
インドからご挨拶申し上げます。

日本から遠く離れた地で、私は、より良い社会を通じてより良い未来を目指す COA-NET の仲間たちと連帯感を分かち合っています。

今日、私たちは距離や言語、文化や国境によって隔てられているかもしれないが、人類と母なる地球の未来のために共通の使命を共有しています。

企業の絶え間ない貪欲さは、天然資源、すなわち地球を搾取することで、すべての人の幸福のためではなく、自分たちの利益欲のために、私たちにこの世の終わりを見させるところに導いている。これは、私たち世界市民が望んでいたことではありません。ガンジーは、「地球にはすべての人の必要を満たすだけのものはあるが、たった一人の欲を満たすだけのものはない」と言い、これを鋭く表現しました。

資源に対する貪欲さだけでなく、権力に対する貪欲さは企業の貪欲さを伴っています。私たちは、民主的な政府が倒されるのを目の当たりにしています。右翼政府は、すべての人のものである資源を略奪し、強奪するために、貪欲と権力に資するエコシステムを作り出すために、金融手段を通じて資金を供給し、支配している。人々はいたるところでこれに反対する声を上げている。私たちはこのような闘いすべてに連帯します。

今日、納税者の金さえも、他国で企業の利益を前に押し進めるために使われている。草の根レベルでの影響はほとんど考慮されていない。私は COA-NET の友人たちの協力を得て、JICA が資金提供したプロジェクトがインドに与える悪影響について、日本政府関係者の注意を喚起する機会を得た。高速鉄道プロジェクトもそのひとつです。今日、皆さんとこのメッセージを分かち合うのは、インドでは、より良い鉄道輸送手段を求める乗客の需要が絶え間なく高まっているにもかかわらず、

準高速鉄道プロジェクトの多くが失敗に終わっているからです。

人々が必要としているものと、開発という名目で与えられるものには、明らかに首尾一貫していません。私たちはすでに世界中の人類の生存を危険にさらすかもしれない気候危機に突入し、世界中の人類の存在を危険にさらす未来に向かい、政府や企業のアプローチではこれを止めることができません。この難題は、企業の利害関係者が国民に投げかけている難題であり、政治家が絶対的な権力の掌握を通じて投げかけている難題です。

日本人として、あるいはインド人として、私たちは、自然や多様な人々の間で、弾力的で調和のとれた生き方を示してきた文化を受け継いでいます。

ここインドでは、私たちは国を権威主義的統治に変えようとする政権と政党に立ち向かっています。インドの総選挙が発表されました。今回の総選挙は、インドのたくましい共存文化の証となります。私たちは、インドの多様性（宗教や文化の多様性）を容認しない状態に追い込みかねない、企業の資金や右派のプロパガンダに対抗するため、粘り強く努力しています。

現政権や憎悪のイデオロギーに反対する人々に対して、法執行機関に絶対的な権限を与えるために、法律の規定が改悪されようとしています。

教育カリキュラムは、憎しみのイデオロギーを助長するように変更されている。歴史は文化的ナショナリズムを広めるために書き換えられ、この国の寛容な文化を貶めます。

最近、インドの最高裁が選挙公債を通じた政治資金規正法違反の判決を下したことで、選挙公債が時の政府の腐敗行為を合法化する手段であることが露呈したのです。

これは、私たちインド人が立ち向かい、闘っている内なる課題のように見えるかもしれませんが。しかし、インドは最も人口の多い国のひとつであり、全世界に影響を及ぼす可能性があります。

インドの現政権は、自然を保護し、向上させるための実践を軽視しています。環境法の変更、環境保護措置の希薄化などが、環境破壊を拡大させ、大衆を苦しめています。多くのアジア諸国を安定した持続的な気象システムで支えているヒマラヤ地域への「開発」介入は、これを侵害してきています。横行する野放図な産業活動は、何百万人ものインド人を支える多くの四季を通じて枯れることのない河川の汚染につながっています。

地理的には異なる地域に位置する私たちの闘いには、共通する理念がある。私たちは万人のために、そして一人のために立ち上がり、万人に対する平等な敬意と権利のために立ち上がっています。

今日、私たちは歴史のレンズを通して見ると、最も困難な時代を通過していると言えます。歴史の流れは、市民や私たちのような人々が勝つかどうかにかかっています。

世界中のすべての人々の闘いに連帯し、共に手を挙げ、声を上げましょう。より寛容な世界を目指しましょう。私たちの母なる地球を救うために働きましょう。私たちはひとつです。

クリシュナカント・チャウハン